

令和元年度第4回郡山市介護保険運営協議会（書面開催）御意見について

No.	資料・ページ数	委員名	御意見等内容	回答内容
1	参考資料	舟見委員	<p>先駆的な活動をされている 西東京市や稲城市の資料を拝見し、とても参考になりました。この資料を参考に、この郡山市の介護保険分野での課題と地域包括ケアを合わせて、どのように進めていくべきかのvisionがあれば、教えていただきたいと思います。もしくは、明確なものがなければ、この協議会で検討をしていくべきと思います。</p>	<p>介護予防や介護支援への元気高齢者のボランティア活用については、各自治体において地域性などを踏まえ取り組んでいるところです。本市においては毎年、介護予防ボランティア養成講座を開催しておりますが、養成したボランティアは、市が直接実施する介護予防事業のサポートのほか、ご自分の地域において「いきいき百歳体操」などの通いの場の立ち上げ・運営にかかわっていただいております。本市としては、今後も、元気高齢者が社会と関わりを持つことで、自身の生きがいづくりや健康の維持を含め、地域の高齢者支援の担い手として活躍できるための取り組みを行ってまいります。</p>
2	参考資料	舟見委員	<p>在宅医療や在宅介護を考えたとき、インフォーマルなサービスがどのくらい活用できるのか、マンパワーが十分にあるのかが心配になります。1とも関連していますが、介護保険でサービス事業（見込み量）が増加しています。介護保険でのサービス事業の増加を少なくとも、地域づくりをどのように行っていくかを考えていけるような取り組みも必要かと思えます。その結果、介護保険料の増加を食い止められればとても良い市になると思います。</p>	<p>本市では、住民主体の支え合い活動の推進を図るため、地域の現状・課題や地域資源について地域住民同士が話し合う場として第2層協議体の設置・運営に取り組んでおります。各地区には、第2層協議体が円滑に運営できるよう市社会福祉協議会に委託し第2層生活支援コーディネーターを配置しておりますが、第2層協議体において、既存の支え合い活動や、インフォーマルなサービスを情報共有したり、新たに創出されるものと考えております。</p>